

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2003-194073 (P2003-194073A)  
【公開日】平成 15 年 7 月 9 日 (2003.7.9)  
【出願番号】特願 2002-294785 (P2002-294785)  
【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 C 33/64  
F 1 6 C 19/18  
F 1 6 C 25/06  
F 1 6 C 35/063  
F 1 6 C 41/00

【F I】

F 1 6 C 33/64  
F 1 6 C 19/18  
F 1 6 C 25/06  
F 1 6 C 35/063  
F 1 6 C 41/00

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 2 1  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 2 1】

除去する範囲 a は、かしめ部 4 の外径寸法を  $\phi A$ 、内輪 3 2 の肩部の外周面 3 2 c の外径を  $\phi B$ 、内輪 3 2 のかしめ部 4 の近傍におけるエッジ 3 2 b からの半径を  $r$ 、内輪 3 2 の表面に発生する残留オーステナイト量が過多 (例えば残留オーステナイト量が 20 % 以上) となった表面層の厚みにほぼ匹敵する数値を  $D$  (mm) とすると、その半径  $r$  を  $(\phi B - \phi A) / 2 \leq r \leq D$  の関係式を満足する半径  $r$  の範囲 a とする。ここで、前記  $D$  は、一例として好ましくは 0.5 [mm] である。